

## 令和3年度 学校運営連絡協議会実施報告書

### 1 組織

- (1) 都立鷺宮高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 事務局長（総務主任）、総務部員2名 計3名
- (3) 内部委員の構成  
校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭(教務担当・生活指導担当・進路指導担当)、主任教諭（総務・保健環境担当）、学年主任 計11名
- (4) 協議委員の構成（氏名の掲載も可）  
学識経験者、PTA会長、近隣中学校長、近隣幼稚園園長、近隣自治会長 計8名

### 2 令和3年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
  - 第1回 令和3年6月23日（水）資料配布のみ  
令和2年度学校経営報告 令和3年度 学校経営計画 令和3年度学校要覧  
令和3年度学校案内 委員名簿等
  - 第2回 令和3年11月17日（水）内部委員11名、協議委員6名  
これまでの教育活動に関する報告  
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議
  - 第3回 令和4年2月9日（水）資料配布のみ  
令和3年度学校評価アンケート結果分析報告  
令和3年度教育活動報告
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
  - 第1回 令和3年11月17日（水曜）内部委員1名、協議委員2名  
今年度の学校評価の観点・項目、内容の検討、実施時期の検討  
学校評価アンケートの回収率増加の方法について検討

### 3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点  
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
  - ・12月 全校生徒 対象：822人 回収：752人 回収率：91.5%
  - ・12月 保護者全員 対象：822人 回収：431人 回収率：52.4%
  - ・12月 地域・住民 対象：30人 回収：20人 回収率：66.7%
  - ・12月 教職員 対象：53人 回収：53人 回収率：100%
- (3) 主な評価項目
  - ・授業内容、特色、家庭学習、学校行事や部活動、基本的な生活習慣、美化活動、教育相談、進路指導の方法と内容、生活指導、図書館利用、満足度、情報発信
  - ・今年度の重点：分かる授業と学び方の指導、家庭学習、進路指導
- (4) 評価結果の概要（校長や学校全般への意見・提言内容）
  - ・数値目標学校評価アンケートにおける肯定的な意見は以下のとおりである。 学校満足度 81.5%  
授業の取組 82.0% 進路指導の取組 82.6% 基本的な生活習慣定着度 69.4% 特別活動の取組 79.6%（目標全の80%以上）であった。基本的な生活習慣定着については、昨年度の63.7%よりは6ポイント増加している。鷺高を選んで良かったという回答は、生徒は学年が上がるにつれて下がっていくという傾向がみられた。保護者は、1,2年生の保護者については、70%台であるが、3年生の保護者は80%であった。また、今年度新たにオンライン授業の取組について評価項目に加えた。教員と生徒の評価は、取り組んでいると思うという評価（そう思う、ややそう思う）の合計が、生徒は77.3%、教員は89.0%であるが、保護者は、取り組んでいるという評価が47.0%、取り組んでいな

い評価（そう思わない、あまり思わない）の合計が、43.5%と拮抗している状況であった。生徒教職員の評価との保護者の評価との乖離がみられた。

(5) 評価結果の分析・考察（校長や学校全般への意見・提言）

- ・「生徒による授業評価」の実施等により生徒の声を聞くとともに、教科担当者が指導計画、評価等について更に説明を行うことが大切である。
- ・地域からは、登下校のマナーをはじめ厳しい御意見をいただいている。基本的な生活習慣定着度69.4%という数値からも考えても、学校全体での指導の充実や指導方法の工夫や改善を今後取り組んでいかなければならない。
- ・ホームページの更新やオンライン授業についても保護者から充実を求める声があり、改善が必要である。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・生徒の授業についてのアンケート結果から、授業改善に向けた校内研修の実施（若手の研究授業を中心に実施している）、充実が一層必要であると認識できた。
- ・以前の本校を知っている地域の方からは、以前と比べてよくなっているという声もいただいていた。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・ホームページをはじめ、学校見学会、学校説明会や驚高デーなどを通しての情報発信を工夫する。
- ・地域からは、地域の活動に参加を望む意見もあり、コロナが収束後の地域との連携について考える。
- ・服装や身だしなみ制服についての意見も多くあり、基本的な生活習慣の定着について推進していく。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

(1) 学校運営

- ・生徒・保護者に対して、機会あるたびに学校の教育方針を説明し理解を得る。
- ・生活指導については、今まで以上に保護者との連携を強化する。
- ・学期ごとに校内研修会を実施する。

(2) 学習指導

- ・アクティブラーニング、ICTの活用などでわかる授業を進める。オンライン授業の取組についても組織的に対応していく。また家庭学習の習慣を身に付け、学力の定着を図る。さらに、部活動との両立を図る。

(3) 特別活動

- ・部活動や学校行事の満足度を一層高め、部活動など退部率を下げる。一部の生徒ではなく、全体の生徒に自主・自律的に取り組むよう指導する。

(4) 生活指導

- ・自転車のマナー教育や社会のルールを遵守させ、遅刻指導などの基本的な生活習慣の定着を一層進める。

(5) 進路指導

- ・3年間を見通した進路指導計画に基づき、生徒に高い志を持たせ、最後まであきらめさせずに第1志望の4年制大学等への進路実現を果たす。

(6) 健康・安全

- ・交通ルールの遵守や薬物乱用防止・情報モラルの指導、緊急事態への対応の整備など、健康の保持増進と安全を図る体制の整備を進める。新型コロナウイルス感染症対策の組織的な取り組みを継続していく。」

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 8人

(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう 思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	そう思わ ない	分からない	無回答
4	2					2

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 0回 延0人          企画調整会議 0回 延0人

【成果】

8 その他

保護者のアンケートの回収を上げるために、PTAの連絡メールを活用したところ、昨年度より25ポイント回答率が上がった。また、都立高校に office 3 6 5 が導入されたので、生徒教員はこの機能を活用してアンケートを実施した。